

平成27年度第7回政策会議

日時 平成28年1月6日（水）10:00～11:00
会場 市長会議室
参集者 工藤市長 中林副市長 片岡副市長 川越企業局長
種田企画部長 高橋総務部長 入江財務部長

1 「亀田地区における統合施設整備基本計画」（案）について

◎対応 種田企画部長 藤田保健福祉部長 岡崎子ども未来部長
川村生涯学習部長 堀田市民部長 内藤都市建設部長
田畑計画推進室長 大泉保健福祉部次長 竹崎計画調整課長
桐澤地域福祉課長 木村保健福祉部管理課長 小林次世代育成課長
佐藤生涯学習文化課長 根本市民・男女共同参画課長 加納亀田支所長

◆ 議題の趣旨 ◆

「亀田地区における統合施設整備基本計画」（案）について協議しました。

◆ 協議の結果 ◆

本件の内容は一部修正することで了承されました。

◆ おもな発言 ◆

■ 種田企画部長

亀田地区統合施設整備基本計画（案）について説明する。

本件は、11月30日に政策会議において協議したものの、駐車場の位置、支所の取り扱い等、土地の利用も考慮した建物のレイアウトについて再検討することとなっていたもの。

亀田支所の統合施設への移転については、現在、支所2階に入居する住宅都市施設公社に退去していただくことで支所の狭隘化を解消することとし、今回の統合施設については支所を除く5つの公共施設の統合ということとしたい。

□ 竹崎計画調整課長

修正した計画においては、統合施設の総面積を5,200㎡から4,400㎡とした。

また、基本設計をプロポーザルによる業者選定によることを想定し、施設配置やフロアイメージ、立体駐車場の記述を変更し、事業者からのよりよい提案を求めることとしたほか、合併建設計画において位置づけられた公共施設の適正配置と整備に基づく事業ということを追加記載した。

さらに、フロアコンセプトの部分で、新たに賑わいと交流のエリアという表現を追加し、市民が気軽に利用出来るスペースや仕掛けを設けることによって賑わいを創出することとした点などが主な修正部分である。

■工藤市長

賑わいと交流のエリアに、例えば軽食喫茶のようなものの設置を盛り込む必要があるのではないかと。バスターミナルもできるので、コンビニ的な施設があれば便利である。

■田畑計画推進室長

プロポーザルの募集要項の中でそういう例示を挙げて提案させることは可能である。

■川越企業局長

基本計画の中に盛り込んだ方がいいのでは。

■種田企画部長

物販や軽食などテナントの入居スペースの確保について記載したい。

□竹崎計画推進課長

概算事業費は、基本設計と実施設計に関する費用を再計算した結果、駐車場を含む建築費用が24億5,600万円となり、総事業費で27億3,300万円、前回示した額から約2億5,000万円ほど減少した。

■種田企画部長

基本計画（案）について、一部修正の上、決定させていただきたい。